

仙台白百合学園創立 100 周年記念イメージソング

「広がる愛 未来へ」

作詞・作曲：山口典子(旧姓 柴田) 編曲：青沼寛

この広く青い空 どこまでも続いている
私たちをつつむ この広い世界の中で
希望を胸に抱いて あふれる夢追い続け
今歩き出す力を信じていたい
つらく悲しい時にも くじけないでいよう
私たちのそばにいるはず かけがえのない友が
さあ熱く両手を広げて 翼をはばたくように
心の中に映る すべてを信じて
広がる愛未来へ どこまでも飛びつづけていく
いつかすべてがかなう 明日を信じて



「卒業生 山口 典子さんインタビュー (2018 年度実施)」

質問 曲を作った時の想いは？

私は中学までずっとピアノをやっていましたが、ちょっと夢やぶれてというか、少し人にものを伝えたりとか、お話をしたりする仕事についてみたいと思い、ちょっとずつシフトチェンジしていったのが中学時代でした。

白百合は放送部が有名だったので、是非とも白百合に入って放送部に入りたいと思い、入学しましたが、放送部の厳しさに途中で心が折れてしまって部活をやめてしまいました。音楽も人に伝えるということもずっと心のとこかに秘めたまま過ごしていました。

高校 3 年生の時、8 月 25 日、登校中、急な腹痛に襲われ補助バックだけをもって一人で病院にいった経験があります。そのまま緊急手術で、ある腫瘍をとるという大病をしました。

その後、復活し、白百合学園が次年度 100 周年を迎えるにあたりテーマソングを生徒から募集するというものがあり、その中でこれまで私が秘めていたものというか、人に伝える、音楽を奏でるとか、あ、これはいいチャンスかなと思い応募しました。

最初、いくつか候補があり、私が弾き語り歌ったのが、ちょうど 3 番目に体育館に流れたとき、どっと笑いがおこって、消えてしまいたいと思うほど恥ずかしい思いをしたが、でも A メロがあって、B メロがあって、サビがでてきたころには、周りのみんながすごくいい曲だね、だれが作ったのという会話になり、すごくその言葉に支えられたというか、やっぱり、ここでダメだったとしても応募してよかったなと思いました。

質問 曲の制作期間は？

実は曲はあっという間にできました。ピアノをずっと習わせてもらっていたので。歌詞を作るのが生まれて初めてでした。「広がる愛 未来へ」というテーマは学校から提示されていましたが、私の中の「広がる愛」ってなんだろう。「私にとって未来ってどんなものだろう」と考えてつくるのにとても時間を要しました。

その中で、やはり、その直前の 8 月に長期入院し、かなり長い期間の闘病生活が歌詞を見いだせたのかなと思います。

質問 白百合での学びで印象に残っていることは？

私は高校から進学、宗教の時間がはじめての経験でした。いったいどういうことをするのだろう。この分厚い聖書をどのように私は読んでいったらいいのだろうというところからはじまりました。週 1 回の宗教の時間が、あの時はマ・スール田畑先生が私の 3 年間の担当でした。最初、G 線上のアリアが流れて一通り聞かせていただいた後、音楽が好きだったので、まずそこで心をつかまれるというか、ひきこまれる感じがあって、聖書の中の一節を取り扱い、これはこういう意味だよときちんとときほぐしながら私たちに説明してくれ、あなたたちだったらどうすると投げかけ、私自身に鏡を置く時間をつくってくれました。とっても大事な時間でした。

質問 白百合生に向けてのメッセージ

私が作った曲ではありますが、そこには青沼先生という素晴らしい編曲をしてくださった先生がいらっしやって、まずはそれを選んでくれた仲間がいて、それを歌い継いでくれるみなさんがいるということでは、むしろ私の方が感謝しています。